

LM・ニュージーランド債券ファンド (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

第67期	決算日	2019年9月17日
第68期	決算日	2019年10月15日
第69期	決算日	2019年11月15日
第70期	決算日	2019年12月16日
第71期	決算日	2020年1月15日
第72期	決算日	2020年2月17日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年2月28日～2024年2月15日まで	
運用方針	主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ニュージーランド債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ニュージーランド債券マザーファンド	主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月15日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・ニュージーランド債券ファンド（毎月分配型）」は、2020年2月17日に第72期の決算を行いましたので、第67期、第68期、第69期、第70期、第71期、第72期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当報告書に関するお問合わせ先：

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税金 分	込配 金騰	期騰 落	額 中率	債券 組入 比率	債券 先物 比率	純資 産額
43期(2017年9月15日)	9,173		40	△1.1		95.5	—	6,935
44期(2017年10月16日)	9,233		40	1.1		97.0	—	7,062
45期(2017年11月15日)	8,954		40	△2.6		97.7	—	6,802
46期(2017年12月15日)	9,027		40	1.3		96.4	—	6,780
47期(2018年1月15日)	9,196		40	2.3		97.5	—	6,816
48期(2018年2月15日)	8,957		30	△2.3		96.8	—	6,602
49期(2018年3月15日)	8,815		30	△1.3		97.6	—	6,477
50期(2018年4月16日)	8,967		30	2.1		96.5	—	6,167
51期(2018年5月15日)	8,637		30	△3.3		97.7	—	5,856
52期(2018年6月15日)	8,710		30	1.2		98.1	—	5,771
53期(2018年7月17日)	8,670		30	△0.1		97.8	—	5,704
54期(2018年8月15日)	8,358		30	△3.3		96.7	—	5,359
55期(2018年9月18日)	8,387		30	0.7		97.1	—	5,310
56期(2018年10月15日)	8,269		30	△1.0		96.7	—	5,180
57期(2018年11月15日)	8,704		30	5.6		97.9	—	5,405
58期(2018年12月17日)	8,727		30	0.6		98.0	—	5,302
59期(2019年1月15日)	8,442		30	△2.9		97.2	—	5,128
60期(2019年2月15日)	8,582		30	2.0		96.9	—	5,107
61期(2019年3月15日)	8,751		30	2.3		98.1	—	5,079
62期(2019年4月15日)	8,665		30	△0.6		97.7	—	4,952
63期(2019年5月15日)	8,287		30	△4.0		97.7	—	4,579
64期(2019年6月17日)	8,175		30	△1.0		97.4	—	4,487
65期(2019年7月16日)	8,381		30	2.9		98.2	—	4,571
66期(2019年8月15日)	8,060		30	△3.5		97.5	—	4,359
67期(2019年9月17日)	8,000		30	△0.4		98.0	—	4,200
68期(2019年10月15日)	7,998		15	0.2		97.4	—	4,145
69期(2019年11月15日)	8,019		15	0.5		98.7	—	4,075
70期(2019年12月16日)	8,248		15	3.0		97.4	—	4,092
71期(2020年1月15日)	8,322		15	1.1		94.6	—	4,039
72期(2020年2月17日)	8,121		15	△2.2		95.7	—	3,880

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第67期	(期 首) 2019年8月15日	円 8,060	% —		% 97.5	% —
	8月末	7,938	△1.5		97.9	—
	(期 末) 2019年9月17日	8,030	△0.4		98.0	—
第68期	(期 首) 2019年9月17日	8,000	—		98.0	—
	9月末	7,964	△0.5		97.8	—
	(期 末) 2019年10月15日	8,013	0.2		97.4	—
第69期	(期 首) 2019年10月15日	7,998	—		97.4	—
	10月末	8,133	1.7		98.2	—
	(期 末) 2019年11月15日	8,034	0.5		98.7	—
第70期	(期 首) 2019年11月15日	8,019	—		98.7	—
	11月末	8,156	1.7		96.5	—
	(期 末) 2019年12月16日	8,263	3.0		97.4	—
第71期	(期 首) 2019年12月16日	8,248	—		97.4	—
	12月末	8,382	1.6		96.3	—
	(期 末) 2020年1月15日	8,337	1.1		94.6	—
第72期	(期 首) 2020年1月15日	8,322	—		94.6	—
	1月末	8,184	△1.7		95.0	—
	(期 末) 2020年2月17日	8,136	△2.2		95.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

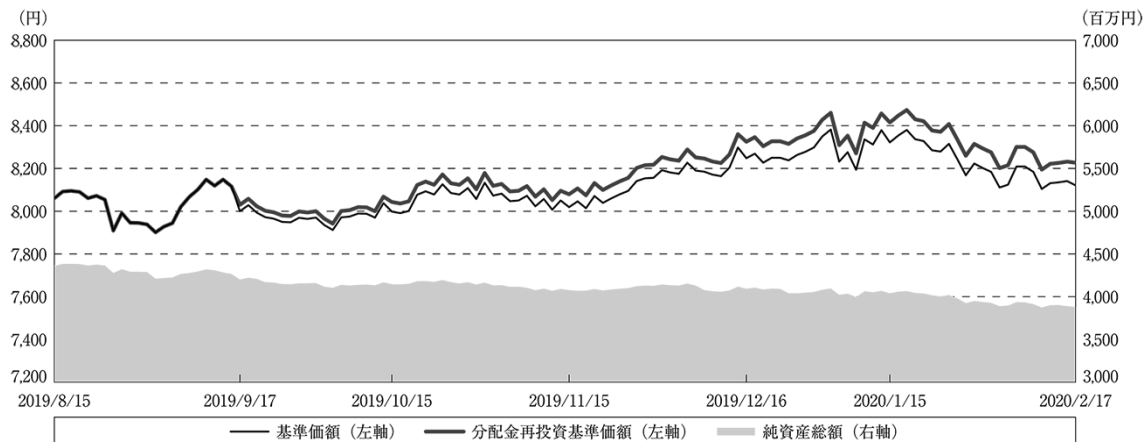
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2019年8月16日～2020年2月17日)



第67期首：8,060円

第72期末：8,121円 (既払分配金(税込み)：105円)

騰落率：2.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年8月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラス(分配金再投資ベース)となりました。

為替相場におけるニュージーランドドル(NZドル)高・円安を反映し、為替損益がプラスに寄与しました。公社債利金も手堅く確保しました。一方、債券利回りの上昇を受けて、公社債損益はマイナスとなりました。

当作成期のニュージーランド債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、米中貿易協議の進展期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことから、利回りは上昇しました。しかしその後、サウジアラビアの石油施設が攻撃されたことを受けてリスク回避姿勢が高まったことや、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）による利下げ観測が根強いことなどから、利回りは低下しました。

期の半ばは、米中の貿易協議に楽観的な見方が広がり、リスク回避姿勢が後退したことから、利回りは上昇しました。その後も、2019年7－9月期消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回ったことや、RBNZが利下げ予想に反して政策金利の据え置きを決定したことから、利回りは上昇しました。

期の後半は、米中貿易協議の合意を受けリスク回避姿勢が和らいだことなどから、利回りは上昇しました。しかしその後、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済への影響が懸念されたことなどから、利回りは低下（価格は上昇）しました。

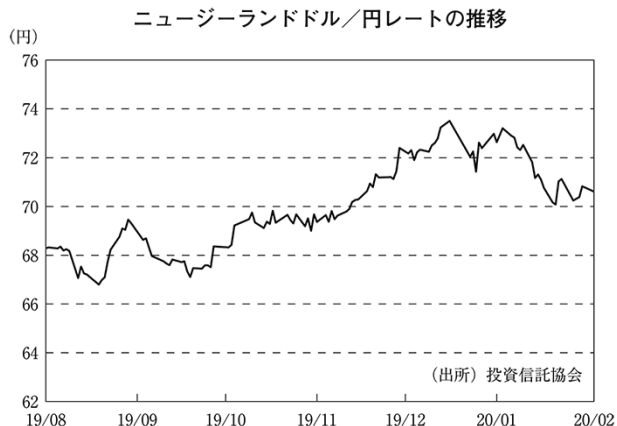
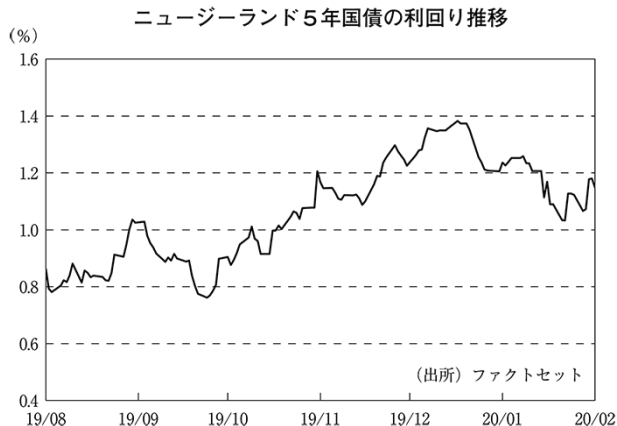
社債セクターについては、国債利回りが上昇した影響などから、利回りが上昇しました。

当作成期のNZドル・円相場は、NZドル高・円安となりました。

期の前半は、米中貿易協議の進展期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことから、一時NZドル買い・円売りが優勢となりました。しかしその後、サウジアラビアの石油施設が攻撃されたことを受けて、リスク回避姿勢が高まったことから、NZドルは上値を抑えられました。

期の半ばは、米中貿易協議に楽観的な見方が広がりリスク回避姿勢が後退したことから、NZドルは対円で底堅く推移しました。その後も、RBNZが政策金利を据え置いたことなどから、NZドルは対円で上昇しました。

期の後半は、米中貿易協議の合意を受けてリスク回避姿勢が和らいだことなどから、NZドル買い・円売りが優勢となりました。しかしその後は、中東情勢の緊迫化懸念や新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感からリスク回避姿勢が強まり、NZドルは対円で下落しました。



当ファンドは、「LM・ニュージーランド債券マザーファンド」を通じて、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。取得時において、原則として1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3以上）の格付けが付与された、またはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債に投資しております。当作成期の運用に当たっては慎重な方針で臨みました。資産配分については、金融債などの社債を厚めとしました。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

分配金

(2019年8月16日～2020年2月17日)

当作成期の分配金につきましては、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2019年8月16日～ 2019年9月17日	2019年9月18日～ 2019年10月15日	2019年10月16日～ 2019年11月15日	2019年11月16日～ 2019年12月16日	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.374%	15 0.187%	15 0.187%	15 0.182%	15 0.180%	15 0.184%
当期の収益	16	13	15	15	15	14
当期の収益以外	13	1	—	—	—	0
翌期繰越分配対象額	393	392	397	407	414	414

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年8月16日～2020年2月17日)

項 目	第67期～第72期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 59	% 0.727	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(29)	(0.352)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.352)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.048	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(1)	(0.017)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	63	0.775	
作成期間の平均基準価額は、8,126円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

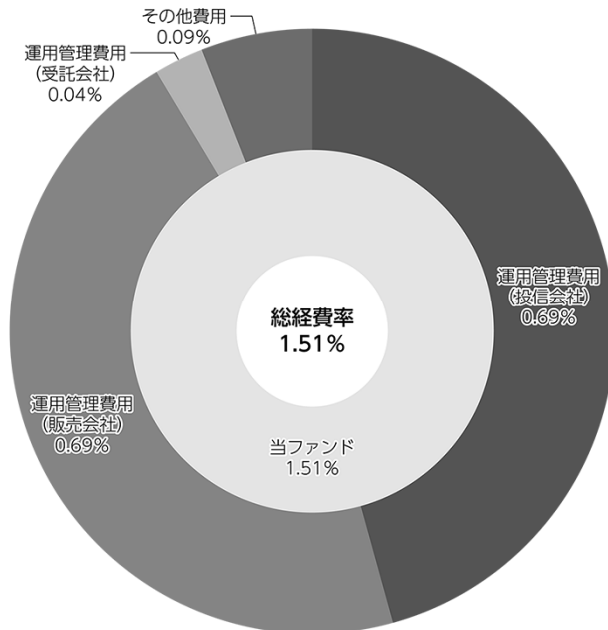
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年8月16日～2020年2月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第67期～第72期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・ニュージーランド債券マザーファンド	千口 107,868	千円 121,282	千口 642,207	千円 725,877

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年8月16日～2020年2月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2019年8月16日～2020年2月17日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年8月16日～2020年2月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年2月17日現在)

親投資信託残高

銘柄	第66期末	第72期末	
	口数	口数	評価額
LM・ニュージーランド債券マザーファンド	千口 3,931,215	千口 3,396,876	千円 3,892,820

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年2月17日現在)

項 目	第72期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
LM・ニュージーランド債券マザーファンド	3,892,820	99.6
コール・ローン等、その他	16,052	0.4
投資信託財産総額	3,908,872	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ニュージーランド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（5,289,302千円）の投資信託財産総額（5,402,402千円）に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月17日における邦貨換算レートは、1ニュージーランドドル=70.61円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
	2019年9月17日現在	2019年10月15日現在	2019年11月15日現在	2019年12月16日現在	2020年1月15日現在	2020年2月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,227,655,300	4,159,998,992	4,088,895,258	4,108,143,823	4,068,899,243	3,908,872,232
LM・ニュージーランド債券マザーファンド(評価額)	4,222,061,473	4,158,241,355	4,088,804,513	4,105,197,688	4,051,675,185	3,892,820,133
未収入金	5,593,827	1,757,637	90,745	2,946,135	17,224,058	16,052,099
(B) 負債	26,996,528	14,202,315	12,907,075	15,532,766	29,444,977	28,503,854
未払収益分配金	15,752,245	7,774,874	7,624,138	7,442,980	7,280,967	7,167,222
未払解約金	5,593,827	1,757,637	90,745	2,946,135	17,224,058	16,052,099
未払信託報酬	5,453,813	4,509,403	5,016,568	4,969,102	4,772,355	5,104,256
その他未払費用	196,643	160,401	175,624	174,549	167,597	180,277
(C) 純資産総額(A-B)	4,200,658,772	4,145,796,677	4,075,988,183	4,092,611,057	4,039,454,266	3,880,368,378
元本	5,250,748,604	5,183,249,544	5,082,758,735	4,961,986,768	4,853,978,408	4,778,148,247
次期繰越損益金	△1,050,089,832	△1,037,452,867	△1,006,770,552	△ 869,375,711	△ 814,524,142	△ 897,779,869
(D) 受益権総口数	5,250,748,604口	5,183,249,544口	5,082,758,735口	4,961,986,768口	4,853,978,408口	4,778,148,247口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,000円	7,998円	8,019円	8,248円	8,322円	8,121円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 5,408,511,617円

当作成期中追加設定元本額 150,451,502円

当作成期中一部解約元本額 780,814,872円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は897,779,869円であります。

○損益の状況

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2019年8月16日～ 2019年9月17日	2019年9月18日～ 2019年10月15日	2019年10月16日～ 2019年11月15日	2019年11月16日～ 2019年12月16日	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 10,112,390	11,651,187	23,338,693	125,967,767	48,143,756	△ 83,103,167
売買益	1,563,893	15,479,221	24,796,411	128,539,589	50,098,970	889,195
売買損	△ 11,676,283	△ 3,828,034	△ 1,457,718	△ 2,571,822	△ 1,955,214	△ 83,992,362
(B) 信託報酬等	△ 5,650,456	△ 4,669,804	△ 5,192,192	△ 5,143,651	△ 4,939,952	△ 5,284,533
(C) 当期損益金(A+B)	△ 15,762,846	6,981,383	18,146,501	120,824,116	43,203,804	△ 88,387,700
(D) 前期繰越損益金	△ 773,455,125	△ 781,464,271	△ 763,967,265	△ 731,088,498	△ 603,513,803	△ 555,369,384
(E) 追加信託差損益金	△ 245,119,616	△ 255,195,105	△ 253,325,650	△ 251,668,349	△ 246,933,176	△ 246,855,563
(配当等相当額)	(213,836,188)	(203,979,647)	(199,314,393)	(194,615,051)	(190,423,064)	(187,520,034)
(売買損益相当額)	(△ 458,955,804)	(△ 459,174,752)	(△ 452,640,043)	(△ 446,283,400)	(△ 437,356,240)	(△ 434,375,597)
(F) 計(C+D+E)	△ 1,034,337,587	△ 1,029,677,993	△ 999,146,414	△ 861,932,731	△ 807,243,175	△ 890,612,647
(G) 収益分配金	△ 15,752,245	△ 7,774,874	△ 7,624,138	△ 7,442,980	△ 7,280,967	△ 7,167,222
次期繰越損益金(F+G)	△ 1,050,089,832	△ 1,037,452,867	△ 1,006,770,552	△ 869,375,711	△ 814,524,142	△ 897,779,869
追加信託差損益金	△ 252,357,974	△ 255,964,495	△ 253,325,650	△ 251,668,349	△ 246,933,176	△ 246,855,563
(配当等相当額)	(206,636,026)	(203,255,070)	(199,335,846)	(194,651,073)	(190,430,529)	(187,557,886)
(売買損益相当額)	(△ 458,994,000)	(△ 459,219,565)	(△ 452,661,496)	(△ 446,319,422)	(△ 437,363,705)	(△ 434,413,449)
分配準備積立金	-	-	2,656,601	7,426,737	10,912,238	10,582,930
繰越損益金	△ 797,731,858	△ 781,488,372	△ 756,101,503	△ 625,134,099	△ 578,503,204	△ 661,507,236

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	8,513,887	7,005,484	10,280,739	12,291,944	10,937,119	7,072,882
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	213,874,384	204,024,460	199,335,846	194,651,073	190,430,529	187,557,886
(D) 分配準備積立金	0	0	0	2,577,773	7,256,086	10,677,270
分配対象収益額(A+B+C+D)	222,388,271	211,029,944	209,616,585	209,520,790	208,623,734	205,308,038
(1万円当たり収益分配対象額)	(423)	(407)	(412)	(422)	(429)	(429)
収 益 分 配 金	15,752,245	7,774,874	7,624,138	7,442,980	7,280,967	7,167,222
(1万円当たり収益分配金)	(30)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)

○分配金のお知らせ

	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
1万口当たり分配金(税込み)	30円	15円	15円	15円	15円	15円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

LM・ニュージーランド債券マザーファンド

運用状況のご報告

第6期 決算日 2020年2月17日

(計算期間：2019年2月16日～2020年2月17日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ニュージーランド債券マザーファンド」の第6期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。 2. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	ニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行います。
組 入 制 限	1. 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 2. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
2期(2016年2月15日)	円	%	%	%	百万円
	10,059	△10.5	97.2	—	13,346
3期(2017年2月15日)	11,249	11.8	96.2	—	10,756
4期(2018年2月15日)	11,375	1.1	96.3	—	8,683
5期(2019年2月15日)	11,530	1.4	96.4	—	6,748
6期(2020年2月17日)	11,460	△0.6	95.4	—	5,317

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
(期 首) 2019年2月15日	円	%	%	%	%
	11,530	—	96.4	—	—
2月末	11,644	1.0	96.9	—	—
3月末	11,769	2.1	98.1	—	—
4月末	11,561	0.3	97.0	—	—
5月末	11,194	△2.9	97.3	—	—
6月末	11,484	△0.4	98.1	—	—
7月末	11,503	△0.2	97.1	—	—
8月末	10,982	△4.8	97.9	—	—
9月末	11,073	△4.0	97.8	—	—
10月末	11,343	△1.6	98.2	—	—
11月末	11,409	△1.0	96.4	—	—
12月末	11,762	2.0	96.3	—	—
2020年1月末	11,520	△0.1	94.9	—	—
(期 末) 2020年2月17日	円	%	%	%	%
	11,460	△0.6	95.4	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年2月16日～2020年2月17日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）は小幅マイナスとなりました。公社債利金を手堅く確保したことに加え、公社債損益についても、債券利回りの低下を受けてプラスとなりました。しかし、為替相場がニュージーランドドル（NZドル）安・円高となったことから、為替要因がマイナスとなりました。

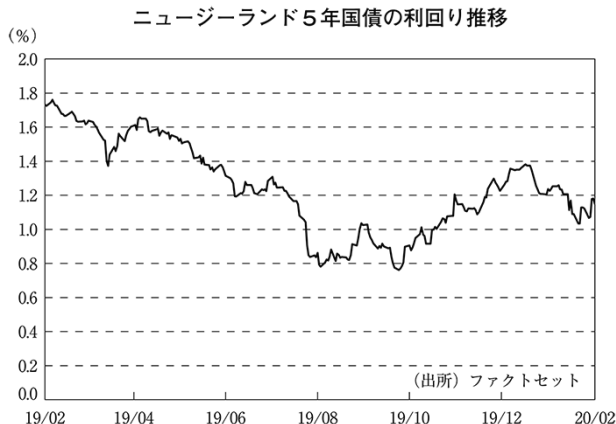
当期のニュージーランド債券市場は、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、世界経済の減速懸念を背景に、債券利回りが世界的に低下基調となる中、ニュージーランドの債券利回りも低下しました。また、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）による利下げ観測が広がり、その後、利下げが決定されたことなどから、利回りは低下基調で推移しました。

期の半ばは、米中貿易協議の進展期待を背景にリスク回避姿勢が和らぎ、利回りは下げ渋りました。しかし、その後、RBNZが市場予想を上回る0.5%の追加利下げを決定したことなどから、利回りは低下しました。

期の後半は、米中の貿易協議に楽観的な見方が広がり、リスク回避姿勢が後退したことや、RBNZが利下げ予想に反して政策金利の据え置きを決定したことなどから、利回りは上昇（価格は下落）しました。しかしその後、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済への影響が懸念されたことなどから、利回りは低下しました。

社債セクターは、ニュージーランドの株式相場が上昇したことやRBNZが政策金利を引き下げたことなどを背景に堅調となりました。



当期のNZドル・円相場は、NZドル安・円高となりました。

期の前半は、世界経済の減速懸念を背景にリスク回避姿勢が意識されたことなどから、NZドルは対円で上値の重い展開となりました。その後、RBNZが政策金利を引き下げたことを受けて、NZドル売り・円買いが優勢となりました。

期の半ばは、米中貿易協議の進展期待を背景にリスク回避姿勢が和らぐと、一時、NZドル買い・円売りが優勢となりました。しかし、その後、RBNZが予想を上回る0.5%の追加利下げを決定したことなどから、NZドル売り・円買いが優勢となりました。

期の後半は、米中の貿易協議に楽観的な見方が広がりリスク回避姿勢が和らいだことや、RBNZが予想に反して政策金利の据え置きを決定したことから、NZドル買い・円売りが優勢となりました。しかしその後、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済への影響が懸念されたことから、NZドル売り・円買いが優勢となりました。

ニュージーランドドル/円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。取得時において、原則として1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3以上）の格付けが付与された、またはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債に投資しております。当期の運用に当たっては慎重な方針で臨みました。資産配分については、金融債などの社債を厚めとしました。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年2月16日～2020年2月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 5	% 0.046	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.045)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	5	0.046	
期中の平均基準価額は、11,437円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年2月16日～2020年2月17日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル
外 国	ニュージーランド	国債証券	11,920	13,293
		地方債証券	2,436	2,159
		特殊債証券	947	5,398
		社債証券（投資法人債券を含む）	10,304	12,830
				(8,154)

(注) 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債証券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年2月16日～2020年2月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年2月17日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	%	%	%	%	%
ニュージーランド	65,318	71,870	5,074,755	95.4	—	39.4	36.2	19.9
合 計	65,318	71,870	5,074,755	95.4	—	39.4	36.2	19.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円		
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.5	2,680	3,048	215,248	2023/4/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	2.75	250	270	19,068	2025/4/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	4,530	5,524	390,118	2027/4/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.0	3,820	4,352	307,354	2029/4/20	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.5	1,010	1,005	71,000	2031/5/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.5	5,900	7,224	510,150	2033/4/14	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	2.75	3,990	4,563	322,247	2037/4/15	
地方債証券	AUCKLAND COUNCIL	5.806	1,450	1,687	119,140	2024/3/25	
	AUCKLAND COUNCIL	2.013	200	202	14,284	2025/7/10	
	CHRISTCHURCH CITY HLDGS	3.4	930	972	68,650	2022/12/6	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	6.0	1,320	1,395	98,543	2021/5/15	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	5.5	2,900	3,259	230,178	2023/4/15	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5	2,500	2,946	208,017	2027/4/15	
特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEVELOPMENT BANK	2.875	500	509	35,945	2021/4/28	
	INTL BK RECON & DEVELOP	4.625	1,300	1,368	96,662	2021/10/6	
	LANDWIRTSCH. RENTENBANK	5.375	1,400	1,615	114,077	2024/4/23	
	NORDIC INVESTMENT BANK	3.875	1,400	1,563	110,399	2025/9/2	
普通社債券 (含む投資法人債券)	ABN AMRO BANK NV	5.75	1,000	1,002	70,812	2020/3/17	
	ANZ BANK NEW ZEALAND LTD	3.03	800	834	58,893	2024/3/20	
	ASB BANK LIMITED	4.245	500	516	36,480	2021/5/26	
	ASB BANK LIMITED	4.2	1,000	1,049	74,105	2022/2/24	
	ASB BANK LIMITED	1.83	500	496	35,054	2024/8/19	
	AUCKLAND INTL AIRPORT	3.64	500	527	37,258	2023/4/17	
	AUCKLAND INTL AIRPORT	3.97	1,400	1,503	106,144	2023/11/2	
	AUCKLAND INTL AIRPORT	3.51	500	532	37,604	2024/10/10	
	BANK OF NEW ZEALAND	4.426	800	808	57,053	2020/6/18	
	BANK OF NEW ZEALAND	3.648	900	956	67,565	2023/11/16	
	BANK OF NEW ZEALAND	2.16	500	502	35,451	2025/1/29	

銘	柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	
	普通社債券 (含む投資法人債類)					
	BANK OF NEW ZEALAND FRN	2.045	500	501	35,408	2020/9/14
	BK NEDERLANDSE GEMEENTEN	5.0	2,125	2,167	153,041	2020/9/16
	BNP PARIBAS	5.375	500	508	35,934	2020/8/21
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	4.005	500	528	37,338	2023/6/19
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	2.393	250	250	17,684	2024/11/22
	CHORUS LTD	4.12	651	666	47,038	2021/5/6
	CONTACT ENERGY LTD	3.55	300	314	22,240	2024/8/15
	COOPERATIEVE RABOBANK UA	5.125	600	603	42,608	2020/4/17
	DANSKE BANK A/S	4.5	100	100	7,073	2020/3/17
	EXPORT DEVELOPMNT CANADA	2.875	300	314	22,241	2023/11/30
	FONTERRA COOPERATIVE GRO	4.33	500	518	36,621	2021/10/20
	FONTERRA COOPERATIVE GRO	5.9	1,110	1,191	84,150	2022/2/25
	FONTERRA COOPERATIVE GRO	5.08	750	840	59,376	2025/6/19
	GMT BOND ISSUER LTD	4.0	500	526	37,186	2023/9/1
	GMT BOND ISSUER LTD	4.54	700	758	53,555	2024/5/31
	HSBC BANK NEW ZEALAN FRN	1.99	1,000	1,003	70,849	2021/11/26
	KIWI PROPERTY GROUP LTD	4.33	700	751	53,072	2024/12/19
	KOREA DEVELOPMENT BANK	5.125	1,800	1,835	129,633	2020/11/13
	MERIDIAN ENERGY LIMITED	4.21	400	436	30,848	2025/6/27
	RABOBANK NEDERLAND	2.75	500	521	36,815	2024/3/4
	SPARK FINANCE LTD	4.5	1,000	1,054	74,430	2022/3/25
	SPARK FINANCE LTD	3.37	400	421	29,764	2024/3/7
	TOTAL CAPITAL INTL SA	5.0	420	427	30,175	2020/9/2
	TOYOTA FIN NEW ZEALAND	3.17	500	520	36,757	2023/9/12
	TOYOTA FIN NEW ZEALAND	2.71	500	513	36,267	2024/4/23
	TRANSPower NEW ZEALAND L	4.069	500	531	37,511	2022/9/16
	TRANSPower NEW ZEALAND L	1.735	500	494	34,933	2025/9/4
	VECTOR LTD	3.45	230	238	16,815	2025/5/27
	WESTPAC NEW ZEALAND LTD	3.795	1,000	1,025	72,443	2021/4/28
	WESTPAC NEW ZEALAND LTD	3.72	802	847	59,826	2023/3/23
	WESTPAC NEW ZEALAND LTD	2.22	1,200	1,212	85,601	2024/7/29
合	計				5,074,755	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年2月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,074,755	% 93.9
コール・ローン等、その他	327,647	6.1
投資信託財産総額	5,402,402	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(5,289,302千円)の投資信託財産総額(5,402,402千円)に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月17日における邦貨換算レートは、1ニュージーランドドル=70.61円です。

○特定資産の価格等の調査

(2019年2月16日～2020年2月17日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年2月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,426,406,303
コール・ローン等	158,168,986
公社債(評価額)	5,074,755,966
未収入金	127,187,931
未収利息	64,075,465
前払費用	2,217,955
(B) 負債	109,061,326
未払金	85,470,748
未払解約金	23,590,490
未払利息	88
(C) 純資産総額(A-B)	5,317,344,977
元本	4,640,047,412
次期繰越損益金	677,297,565
(D) 受益権総口数	4,640,047,412口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,460円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	5,852,494,302円
期中追加設定元本額	422,237,532円
期中一部解約元本額	1,634,684,422円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型)	3,396,876,207円
LM・ニュージーランド債券ファンド(年2回決算型)	1,243,171,205円

○損益の状況 (2019年2月16日～2020年2月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	223,675,216
受取利息	223,657,473
その他収益金	60,901
支払利息	△ 43,158
(B) 有価証券売買損益	△260,691,057
売買益	159,274,528
売買損	△419,965,585
(C) 保管費用等	△ 2,716,664
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 39,732,505
(E) 前期繰越損益金	895,628,510
(F) 追加信託差損益金	58,743,687
(G) 解約差損益金	△237,342,127
(H) 計(D+E+F+G)	677,297,565
次期繰越損益金(H)	677,297,565

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。